

ウェディング科2年 2024年度科目シラバス

対象学年	2 学年	科目名	実習就職対策講座 I	担当名	大松晶野 吉田大樹 高橋真実
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	将来の就職を見据えて、10月からの実習、11月から本格的に始動する就職活動に向けて年間の流れを把握し、それぞれの時期で何をすべきか理解できる。また、就職活動の手法を理解し、実践に向けて準備ができる
学習内容	業界を熟知している学校職員や講師が、ウェディング・ホテル業界への就職に向け、業界の動向や、現場で求められる気構え・身構え・心構えを伝え、学生の「第一印象」と「業界で働くうえで求められるマインド」を高め、業界から評価される人材を育成する視点で授業を展開する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないように出席すること。

授業回数別教育内容

※内容は変更になる可能性があります。(SPI授業追加予定)

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	・現場実習の流れを確認する	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	
2	・就職活動の流れを確認しマイナビ2026、リクナビ2026の登録を行う/ワンデーインターンシップについて ・就職活動における学校のルールを理解する ・〈復習〉ウェディング・ホテル業界の職種を理解できる		
3	・面接時の入退出方法基本の確認と実践	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	
4	・就職活動におけるオンラインツールの確認 ・オンライン企業説明会・面接の方法を確認し、オンラインでの見せ方を実践する		
5	社会人基礎力講座:チームで働く力	・手帳(スケジュール帳)	
6	社会人基礎力講座:チームで働く力	・手帳(スケジュール帳)	
7	ウェディング・ホテル業界で活躍する卒業生の講話(予定)	・手帳(スケジュール帳)	
8	求人票の見方や企業ごとの求人方法を理解する 求められる人材を理解する 業界マップの復習とSWOT分析について学ぶ	・手帳(スケジュール帳)	
9	就職活動における集団面接について学ぶ 面接質問の意図とは	・手帳(スケジュール帳)	
10	集団面接の実践 5W1Hで話すとは	・手帳(スケジュール帳)	
11	就職活動におけるグループディスカッションについて学ぶ グループディスカッションの実践	・手帳(スケジュール帳)	夏休み課題 ワンデーインターンシップへの参加
12	企業研究の方法の復習 深掘した企業研究から志望動機が書ける	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	
13	就職活動用の履歴書作成の実践⇒提出	・手帳(スケジュール帳)	
14	エントリーシートの書き方 「勝てる書類」の作成方法	・手帳(スケジュール帳)	
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ゲストハウスウェディングI	担当名	和田 翔太郎
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ゲストハウスウェディングの歴史・スタイル・実務の基礎を学び、ゲストハウス全般の知識を得る。お客様に合わせた提案をするため、最適なヒアリングとプランニングを行うことができるようにする。
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、約10年のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て、ヒアリングとプランニングスキルを習得するための講義演習を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具とPCを持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1 2	オリエンテーション ゲストハウスウェディングについて	筆記用具、PC	—
3 4	ゲストハウスの基礎知識: ウェディングスタイル	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
5 6	ゲストハウスウェディングの特徴① ゲストハウス調査ワーク準備	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
7 8	ゲストハウスウェディングの特徴② ゲストハウス調査ワーク発表	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
9 10	ゲストハウスの基礎知識① 業務内容 新規接客	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
11 12	ゲストハウスの基礎知識② 業務内容 プランニング	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
13 14	ゲストハウスの基礎知識③ 業務内容 婚礼当日	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ウェディングサービス演習	担当名	田嶋 史雄
対象学期	前 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60時間

到達目標	ウェディングサービスに特化した検定試験「ウェディングサービス検定」に合格する。
学習内容	外資系シティホテル及びウェディングも行うフレンチのグランメゾン等で、レストランマネージャーとして研鑽を積む。洋食、和食と広くサービスを経験している講師が、教科書に沿いながら、実際の職場でもすぐにサービス実践できるように指導を心掛ける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	「宴会サービスの教科書」を持参し、ビジネススーツでの参加を忘れないこと。 * 髪型、靴等に接客サービスに相応しい状態に整える

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	サービススタッフの基本的マナー/接客の基本動作と姿勢/接客用語と言葉使いのマナー/基本スキル	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
2	ドリンクサービス/ボトルによるサービス/ワインの注ぎ方/ワイン料理に関する知識	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
3	宴会サービスとは/宴会サービスの心構え/宴会セクションの組織と役割/備品の扱い方とテーブルセッティング	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
4	宴会のサービスの方法/フードメニュー/ナプキン/テーブルプラン	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
5	宴会の種類とテーブルプラン/会場設営	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
6	宴会サービス業務と手順①	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
7	宴会サービス業務と手順②/プロトコール	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
8	婚礼サービス1 ブライダルとは/ブライダルサービスの業務/結納	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
9	婚礼サービス2 ブライダルフェア/挙式・披露宴サービスの流れ(準備)	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
10	婚礼サービス3 会場設営/挙式サービスの流れ	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
11	婚礼サービス4 披露宴での業務/披露宴サービスでのポイント	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
12	婚礼サービス5 披露宴サービス流れ・サービス演習	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
13	結婚式の基礎知識 結婚式とは/挙式のスタイル/関連商品	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
14	ユニバーサルマナー 肢体不自由/視覚障害/聴覚・言語障害	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
15	定期試験(ウェディングサービス検定)	筆記用具	

対象学年	2 学年	科目名	ホテルサービス演習	担当名	丸毛 浩一
対象学期	前 期		講義 演習 実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	宿泊部門の基礎知識及び基本スキルを身に付け、ホテルマンとして宿泊サービス演習が系統だてで行える実務能力を発揮する事が出来る。
学習内容	ホテル業界で宿泊サービス並びに担当支配人、総支配人の実務経験を有し、ホテル学校での教育経験を持つ教員が学生一人一人へ宿泊部門の実務を自信を持ってモチベーションを高め実演できる授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参 実技実習に備え毎週スーツ(制服)着用及びメモ帳(小型)、ノック式ボールペンを忘れず持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	前期の授業概要を理解する 宿泊部門の基本姿勢を实践、理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
2	宿泊部門の使命と役割及び業務の流れを理解する 組織及びスタッフに求められる資質・能力について理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
3	ロビー・サービス業務について理解する I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
4	ロビー・サービス業務について理解する II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
5	ロビー・サービス業務の実践トレーニングを行う I (ベルサービス及びクローク)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
6	ロビー・サービス業務の実践トレーニングを行う II (ベルサービス及びクローク)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
7	ハウスキーピング業務について理解する I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
8	ハウスキーピング業務について理解する II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
9	ハウスキーピング業務 ロールプレイング(実践) I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
10	ハウスキーピング業務 ロールプレイング(実践) II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
11	フロントオフィス業務について理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
12	フロント・オフィス業務の実践トレーニングを行う I (レセプション業務 C/I C/O)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
13	フロント・オフィス業務の実践トレーニングを行う II (レセプション業務 C/I C/O)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
14	宿泊サービス前期授業を復習し、理解を深める	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
15	定期試験	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	定期試験の反復学習

対象学年	2 学年	科目名	ホテルビジネス実務 I	担当名	丸毛 浩一
対象学期	前 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ホテル全般に於ける知識を学習し、ホテルビジネス実務検定を取得する事に依り、ホテル研修や就職した際に業務における円滑なコミュニケーションと基本業務が行え、ホテルエとしてのプロフェッショナルな人材を育成する。
学習内容	ホテル業界で長きにわたり、担当支配人、総支配人及び本部経験の実務経験を有し、ホテル学校での教育経験を持つ教員が学生一人一人へホテル実務全般基礎知識と検定取得を自信を持って行える授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。 メモ帳(小型)、ノック式ボールペン及びPCを忘れず持参すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	第1章 ホテルの基礎 第1節 観光産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
2	第1章 ホテルの基礎 第2節 ホテル産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
3	第1章 ホテルの基礎 第3節 実務者として必要な基礎知識第4節 ホテル英語の基礎	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
4	第2章 宿泊部門 第1節 宿泊部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
5	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
6	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
7	第3章 料飲部門 第1節 料飲部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 701選	当該授業の反復学習
8	第3章 第2節 料飲部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
9	第3章 第2節 料飲部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
10	第4章 宴会部門 第1節 宴会部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
11	第4章 宴会部門 第2節 宴会部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
12	第4章 宴会部門 第2節 宴会部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
13	第5章 調理部門 第1節 調理部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
14	第5章 調理部門 第2節 調理部門の実務	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ドレススタイリストⅠ	担当名	福島圭子・坂田依智子
対象学期	前 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	婚礼衣装及び小物を丁寧に取り扱いことができ、洋装の正しいフィッティングができる。使用した教材を元の場所に戻すことができる
学習内容	ドレスブランドマシェリにて、500組以上の婚礼にウエディングスタイリストとして携わってきた教員と、ウエディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にてウエディングスタイリストとして長きにわたり式場やホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員が、婚礼衣装の知識の講義と正しい技術を身につけるためのフィッティング演習を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手、インナーを持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容（予定）	使用教材	授業以外での準備学習の有無	担当講師
1	スタイリストの仕事について ドレスルームの使い方	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
2	ドレスの基礎知識～シルエット・ディテール ドレスの取り扱い方	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
3	ドレスの基礎知識～装飾・色・素材 ドレスのフィッティング手順	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
4	ドレスの基礎知識～サイズ・ドレス小物 ドレスのフィッティング	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
5	ドレスのフィッティング	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
6	フォーマルウェアの基本	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田
7	新郎衣装の基礎知識 新郎衣装のフィッティング手順	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
8	新郎衣装のフィッティング	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
9	ブライダルインナーについての知識	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	福島
10	ブライダルインナーのフィッティング	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田
11	ドレス小物のフィッティング	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
12	インナーをつけてウエディングドレス・小物のフィッティング	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
13	インナーをつけてカラードレス・小物のフィッティング	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
14	ドレスとメンズ衣装の基礎知識の復習 ドレスのフィッティングの復習	〔テキスト〕 JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
15	定期試験			坂田 福島

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルフラワーアレンジ I 講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	担当名	伏見さゆり		
対象学期	前 期				単位/時間数	4単位	60 時間

到達目標	ブライダルにおける花との関わりや、基本的な花の知識を学びブライダル業界で働く事に対する意識を芽生えさせ、専門的知識を説明することができる。
学習内容	ヨーロッパフラワーデザイン連盟認定講師として18年6教室を運営する傍ら、企業レッスン・音楽イベント・ブライダル装花など様々なシーンで活動しております。 ブライダル業界に密接な関係性がある花について、専門用語・種類や特徴を理解し学びを通じてモチベーションを高め、基礎知識についての講義と実技を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業毎で使用する持ち物は、毎回確認し忘れずに持参すること。*忘れ物をすると作品が制作できません。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	フラワーアレンジメントに用いる資材、フォーカルポイント・メカニカルフォーカルポイントについて理解する。水揚げ方法・生花の切り分け方、生けた後のケアを理解する。生花の切り分け方を実施(1人6～10本程度)	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P4～P25まで自宅学習
2	生花作品①ミニラウンド&テーブルフラワー「ラウンド」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P98自宅学習
3	生花作品②ミニホリゾンタル&メインテーブルフラワー「ホリゾンタル」作成の実施。	教科書・トレー・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P95自宅学習
4	花の分類・植物の生育、科の種類のそれぞれの特徴を理解する。 アレンジに使われるグリーンについて理解する。 生花作品③「季節の花のミニ花束」&「リース」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P26～P39まで自宅学習
5	四季の花や、花の季節行事を例示する。カラーコーディネートについて理解する。ワイヤリングとテーピング・リボンワークの扱い方を理解する。生花作品④「フレンチボウ(リボン)」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P40～57まで自宅学習
6	コサージュについて理解する。 生花作品⑤「3ポイントコサージュ」&「ヴァーティカル」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P58～P61まで・P103自宅学習
7	ウェディングブーケに関わるオーダー制作方法・管理方法について述べる事ができる。 花づくりをする前に肥料や植物の特徴を理解する。エディブルフラワーについて理解する。 生花作品⑥「ブーケホルダーと巻き上げ&ブートニア」&「ラウンドブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P62～P73まで・P104自宅学習
8	生花作品⑦「ラウンドブーケ」&「ティアドロップブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P105自宅学習
9	生花作品⑧「ウェルカムボード」&「ファン」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P100自宅学習
10	ギフトと花の関係性、リボンワーク・ラッピング(保水)について理解する。 生花作品⑨「鉢のラッピング」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P74～P79まで自宅学習
11	生花作品⑩「ナチュラルステムブーケ(花束)」&「スワッグ」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P78～P79まで自宅学習
12	ドライフラワー・押し花の特徴、管理方法注意点を理解する。 プリザーブドフラワーの扱い方、特徴・種類管理方法注意点を理解する。 プリザーブドフラワー作品⑪「プリザーブドフラワーアレンジメント」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P80～P89まで自宅学習
13	基本デザインアレンジメント&ブーケ、アレンジメント用語の説明ができる。 生花作品⑫「トライアングラー」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P90～P127まで・P95自宅学習
14	生花作品⑬「試験練習ホリゾンタル」&「試験練習トライアングラー」作成の実施。	教科書・トレー・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P95・P103自宅学習
15	定期試験・EFD2級インストラクターライセンス筆記検定対策	教科書	第1回～14回講義内容自宅学習

対象学年	2 学年	科目名	フォト&ムービー撮影 I	担当名	内垣 和
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	ウェディングフォトおよびウェディングムービーを実践的に学ぶことにより、基本的な撮影・編集ができるようになる。
学習内容	フォトグラファー歴13年、ホテルや式場・ゲストハウスなどで撮影を行う講師が、ウェディングフォトの基礎知識、撮影技術はもとより、心構えや動きなど現場で使える・役立つ知識を講義する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具、一眼レフカメラ一式(バッテリー、メディア等)、MacBookを忘れずに持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介(学生) カメラ開封・各部の説明		
2	写真とは・動画とは カメラの基本知識・カメラの構造		
3	Macの基礎知識・設定 使用ソフトのインストール・データ管理について		
4	カメラの設定と操作 各種モードとマニュアル撮影について		
5	カメラの設定と操作 絞り・シャッタースピード・ISO感度の設定		
6	カメラの設定と操作 画角の違いと画角による作用		
7	カメラの設定と操作 撮影のTPO(状況・環境に応じた撮影設定を学ぶ)		
8	人物撮影(ポートレート撮影)の基礎 人物撮影の画角と構図について		
9	人物撮影(ポートレート撮影)実践 ポージングと声かけとコミュニケーションの取り方		
10	人物撮影(ポートレート撮影)実践		
11	動画の基礎知識、動画撮影の基礎		
12	動画撮影実習		
13	動画編集基礎		
14	講評と編集		
15	定期試験(写真)		

対象学年	2 学年	科目名	セルフビューティ A・B	担当名	笠原 麻衣
対象学期	前 期		講義 演習 実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	基礎的なメイク知識やテクニックを学び、理論的な考えの基、セルフでメイクを施せられるようになる。自分自身の美意識も接客サービスや身だしなみの一つとして考え、好みのメイクだけに偏らず様々な印象のメイクが出来るようになる。																					
学習内容	大手外資系化粧品ブランドの美容部員として約10年従事し、マネージャーとしてメイク・接客スキルの育成にも携わる。現在はメイク講師の傍ら、グランドニッコーホテル東京台場の美容サロンに所属し花嫁様のメイクを担当。セルフビューティの授業ではメイクの基本的な知識やテクニックを学び生徒自身のメイク技術と美意識を高める。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>－ 4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>－ 3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>－ 2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>－ 1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>－</td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>－ 0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験と実技試験とする	評価	GPA	合計点数	A	－ 4.0	90点～100点	B	－ 3.0	80点～89点	C	－ 2.0	70点～79点	D	－ 1.0	60点～69点	E	－	出席不良	F	－ 0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	－ 4.0	90点～100点																				
B	－ 3.0	80点～89点																				
C	－ 2.0	70点～79点																				
D	－ 1.0	60点～69点																				
E	－	出席不良																				
F	－ 0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	毎授業では自分の化粧道具を持参 持っていない道具は推奨しているメイク道具を準備をお願いします。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	講師自己紹介・生徒他己紹介・ 授業内容説明とアンケート		
2	基本的なアイブロウの描き方・黄金比		
3	印象別のアイブロウの描き方		
4	アイシャドウの塗り方、グラデーションの作り方		
5	ハイライト&シェーディングで立体メイク		
6	パーソナルカラーとは①ブルーベース・イエローベース		
7	パーソナルカラーとは② 4つのシーズンを知る		
8	フルメイクのバランスの取り方		
9	印象別メイク①フェミニンメイク		
10	印象別メイク②クールメイク		
11	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート		
12	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート		
13	結婚式の参列メイク①		
14	結婚式の参列メイク②		
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	パーソナルカラー検定A・B	担当名	岡永 めぐみ
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダル業界において、どの分野でも必要となる「カラー」の知識を資格を取るという目標と同時に、実際の現場においても活用出来る「応用力」と、様々なイメージの要望を色に置き換えて提案することが出来る「提案力」を身につけることが出来る基礎知識を身につける。
学習内容	色彩におけるあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリーの提案と作成を行っている講師が、色で学生自身の外見のセンスアップと内面の健康を保つ知識とともにパーソナルカラー検定の資格取得をする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	問題集は直接書き込まず、ノートを用意してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルで色の勉強をする意味を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
2	色の三属性、トーンを学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
3	色の三属性、トーンを学ぶ、色の見極め方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P7、P9
4	4つのシーズンの特徴を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P14
5	4つのシーズンの特徴を理解する、色の見極めテスト	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	1週間ファッションシート
6	似合う色の基準を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P18
7	自分のボディカラーを知る	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P19
8	中間試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	試験の復習
9	対比、反射の影響を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	授業で終わらなかったプリント
10	配色方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P11
11	ドレーピング方法を学ぶ1	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P25
12	ドレーピング方法を学ぶ2	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P26
13	似合う色の取り入れ方を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P30、P31
14	模擬試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	試験の復習
15	定期試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	

対象学年	2 学年	科目名	英会話演習A	担当名	Paul Searle
対象学期	前 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	学生は、挨拶する・自身の考えを伝える・相手が言っていることを理解する、などの基本の英会話と、ホテル業界の様々なビジネスシーンにおけるシチュエーションの会話を習得する。
学習内容	滋慶英語教育に長く携わってきたネイティブの教師が、学生がホテル特有のシチュエーションにおいて外国人を前に自信を持って対応できることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習しておくこと。また、授業後復習をし、より確実に身につけることが望ましい。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	■コース紹介 ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about travel 旅行について話すことができる ■Can discuss tours ツアーについて議論することができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 1	授業内容に応じて、 自宅学習
2	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about jobs 仕事について話すことができる ■Can deal with check in at the airport 空港出チェックイン対応ができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 2 & 3 -A	授業内容に応じて、 自宅学習
3	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can understand directions at an airport 空港の案内が理解できる ■Can talk about procedures at immigrations 入国審査の手続きについて話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 3 -B & 4	授業内容に応じて、 自宅学習
4	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can deal with lost items at an airport 空港で喪失物の対応ができる ■Can deal with enquiries about hotel accommodation ホテルの空き状況についての問い合わせに対応できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 5 & 6-A	授業内容に応じて、 自宅学習
5	■Can check guests in and out お客様のチェックインとチェックアウトの対応ができる ■Can talk about hotel breakfast and fast food ホテルの朝食やファストフードについて話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 6-B & 7	授業内容に応じて、 自宅学習
6	■Can explain sightseeing tours 観光ツアーについて説明できる ■Can assist guests with souvenir shopping お客様がお客様を購入する際にサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 8 & 9	授業内容に応じて、 自宅学習
7	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with transportation needs 公共交通機関についてお客様のサポートができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 10	授業内容に応じて、 自宅学習
8	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with problems and health issues トラブルや体調不良の問題についてお客様をサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 11	授業内容に応じて、 自宅学習
9	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can explain transport options to the airport 空港までの交通ルートの説明ができる ■Can explain procedure at a Ryokan 旅館の手続きを説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 1&3, 4&5	授業内容に応じて、 自宅学習
10	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can explain Japanese meals at a Ryokan 旅館の日本食を説明できる ■Can explain Japanese souvenirs 日本のお土産について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 6, 7, 8	授業内容に応じて、 自宅学習
11	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can buy bullet train tickets 新幹線の切符を購入できる ■Can take a taxi タクシーを利用できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 9, 10	授業内容に応じて、 自宅学習
12	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give advice on sightseeing 観光のアドバイスができる ■Can explain about City Tours 市内観光について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 11	授業内容に応じて、 自宅学習
13	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give recommendation for places to visit 観光のおすすめスポットを提案できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 12	授業内容に応じて、 自宅学習
14	■Review of course materials-consolidation through role play これまで学習した内容の復習—ロールプレイを通して理解を強化 ■Test Preparation 試験勉強	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic	授業内容に応じて、 自宅学習
15	定期試験	/	/

対象学年	2 学年	科目名	韓国文化演習A・B	担当名	1～4週目:竹澤 雅 5～7週目:近藤 仁
対象学期	前 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	韓国文化・トレンド・言語を学ぶとともに、韓国での観光、結婚式のかたちを理解し、今人気の韓国風フォトウェディングを創り出し、提案する力を身につけることができる
学習内容	竹澤先生:韓国出身のネイティブ講師(現在は、日本国籍)が、自分の経験を基に教育する。日本で長年に渡り接客経験がある講師の実体験に基づく日本文化との違い・異文化での結婚式について興味・関心を持てる授業を実施する 近藤先生:ウェディングフォトのベテラン講師が、テーマに合わせたフォト演習を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないように出席すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	授業に入る準備を確立する 韓国の概要(文化・民族特性など) 韓国のホテルについて(有名な観光地やホテルのおもてなしの方法)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国人気の理由について 考えをまとめる
2	韓国のブライダルについて (韓国での結婚観や結婚式の特徴について) 韓国ブライダルについて (韓国で今人気の結婚式について)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国で行ってみたい 観光地について調べる
3	韓国語(日常会話) 韓国語(接客用語)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国で推し活 応援うちわに書きたい 言葉を考える
4	韓国の民族衣装やアイテムについて (チマチョゴリを着てみよう)	講師作成 プリントやPPT・映像など	チマチョゴリに似合う 髪型を考える
5	韓国風ウェディングフォトの準備① コンセプトシートの作成 (ウェディングフォトで着たいドレスを探す) 韓国風ウェディングフォトの準備② (韓国風ウェディングのヘアメイクやコスメについて)		
6	韓国風ウェディングフォトの準備③ (各チームで準備) 韓国風ウェディングフォトの準備③ (各チームで準備)		
7	韓国風ウェディングフォト撮影会		
8	定期試験	1～4回目の授業を中心とウェディングフォト のコンセプトシート提出、振り返りの内容	

対象学年	2 学年	科目名	マーケティングA・B	担当名	長谷川 円香
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	マーケティングの基本的な知識を理解し、商品やサービスが売れる仕組みを知る。自分の言葉や写真を使って表現出来るようになる。 SNSを効果的に表現出来る方法を身につけることを目標とする。
学習内容	婚礼プロデュース会社にて10年以上勤務後フリーランスウェディングプランナーとして独立。フリープランナー経験8年・フリーMC歴15年。 行政・企業のSNS運用・イベント集客などを手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について分かりやすい言葉で具体的に指導。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介・到達目標の共有 マーケティングの基本【4P / 4C】	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
2	「マーケティング」での「顧客」の定義。 ホテル・サービス業におけるペルソナとは？を知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	【グループワーク】準備 ペルソナが求める会場タイプ別の魅力分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	【グループワーク】準備 会場の魅力についてプレゼンテーション準備	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	【グループワーク】発表 会場の魅力についてプレゼンテーション発表	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	行動経済学を知ってマーケティングに活かそう！ なぜ、マリッジブルーになる花嫁が多いのか？など。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	【グループワーク】準備 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	【グループワーク】発表 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	広報力の分析／マーケティング用語とビジネスカタカナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	広報力の分析／マーケティング用語とビジネスカタカナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	【グループワーク】準備 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	【グループワーク】発表 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	集客案作成① マーケティングを活かしてブライダル広報誌を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	集客案作成② マーケティングを活かしてブライダル広報誌を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルジュエリーA・B	担当名	北沢 聡子
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	婚礼に使われるジュエリーとアクセサリーについて例示し、宝石についての知識と興味を持って美しいイメージを顧客に持ってもらえるような接客力を発揮し、知識を持ってジュエリーショップに就職も視野に入れる
学習内容	最大手のメーカーでドレスのデザイナー・関連小物の企画、ドレスコーディネーターを勤めてきた講師が長年にわたり収集した世界中の王家・名門貴族・セレブリティのジュエリー画像、世界の流行を変えたジュエリー、ハイブランドの特徴や日本のブランドの画像をふんだんに使いながらジュエリーの世界を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノートを取りなるべく本物を見るように提示された場所に行ってみる

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルジュエリーの種類と宝石の知識の重要性	講師資料	自分の誕生石を調べる
2	宝石の特徴と主な種類、欧米諸国と日本の違い	講師資料	授業復習
3	誕生石について学びながら基本知識を深める	講師資料	授業復習
4	ダイヤモンドについて	講師資料	婚約指輪の理想を考える
5	婚約指輪・結婚指輪について	講師資料	結婚指輪の理想を考える
6	5大ジュエラーとグランサンク	講師資料	ヴァンドーム広場を検索する
7	世界のハイブランドと日本のブランド	講師資料	授業復習
8	世界のティアラ・ティアラを着ける効果	講師資料	授業復習
9	パリュールについて	講師資料	授業復習
10	ドレスとブライダルジュエリーのバランス	講師資料	授業復習
11	日本が世界に誇る真珠について	講師資料	授業復習
12	王族・貴族のブライダルジュエリー	講師資料	授業復習
13	模造宝石の進化と市場	講師資料	授業復習
14	最近のブライダルジュエリーの傾向	講師資料	試験勉強
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	オフィスワーク・マナー講座A	担当名	田中 絵巳
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	「ブライダル業界の社会人1年目に必要となる、業界基礎知識（流れ・マナー）を学び、その項目に対し相談に乗れるようになること」 ①認知：列席側・新郎新婦側の基本的知識（流れ・マナー）の理解し、説明できる ②感情：「基本的知識を手に入れ、業界に入るベースが作れた」と思える自己効力感がある ③行動：列席・新郎新婦側のケーススタディを個人ワーク・グループワークを通じて考え・話し合う ④対人関係：ブライダルを専門的に学んだ者として、列席・新郎新婦の基本的な流れ・マナーの相談に乗れる
学習内容	ウェディング企業にて約7年勤務のち、ウェディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員が実際に現場で必要と感じた業界基礎知識を【知識解説→ケーススタディ→ワーク→解説】の順で教える。 ①自分が列席する際のマナー（招待状、服装、祝儀、当日） ②新郎新婦の準備の流れ・マナー（段取り、日取り、結婚式スタイル、ペーパーアイテム、引出物、プログラム、結婚後）
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	服装：私服 持ち物：コマによって筆記用具を持参(前週に案内)

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション：業界の今	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
2	【列席者】 招待状（返信ハガキ（欠席・出席） ゲスト	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
3	【列席者】 服装（親 兄弟姉妹 親族 友人）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
4	【列席者】 祝儀（金額 袋 ふくさ）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
5	【列席者】 列席当日（受付 電報 スピーチ）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
6	【新郎新婦】 結婚段取り・費用（婚約～婚礼～新婚旅行 新	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
7	【新郎新婦】 式場決定前（プロポーズ 挨拶 結納 日取り）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
8	【新郎新婦】 スタイル決め（挙式スタイル 披露宴スタイ	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
9	【新郎新婦】 会場決め（式場スタイル ウェディングフェ	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
10	【新郎新婦】 ペーパーアイテム（招待状 度次表作成マ	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
11	【新郎新婦】 ギフト（引出物 プチギフト）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
12	【新郎新婦】 プログラム（進行 手紙 謝辞）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
13	【新郎新婦】 ゲスト演出（スピーチ 乾杯 全開 カメラ）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
14	【新郎新婦】 式後（婚姻届 ハネムーン 内祝い 結婚通知	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
15	総復習 振り返り テスト 60点分 定期試験	スライド	授業内容に応じて、自宅学習

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルブーケ A	担当名	松浦 麻子
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 60 時間
到達目標	ブーケ、ヘア装飾の実技を通して得る生きた知識を自分の専門分野に活用できる。ブーケスタイルによる特徴や美しさ、構造による留意点と優れた点、効果的な取扱いとトラブル対応などを説明、実践でき、さらに各自の専門性と掛け合わせて言葉で表現できる。				
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、生花、ドライフラワー、アーティフィシャルフラワーを用いた多彩なブーケやヘア装飾を教える。プランナー等各専門分野に役立つ着眼点で、花材の種類、ブーケスタイル、構造の特徴や取り扱いを習得し、プランニング等の付加価値を高める。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	授業によりハサミなど持参/毎回の授業に振り返り有/生花を使う場合は水揚げ作業もしま				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【ドライフラワーのクラッチブーケ】 取扱いと作り方説明 ブーケ・ブートニア・ヘアード作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
2	【生花のクラッチブーケ】 現場取扱いと水揚げ説明 水揚げ・ブーケ・ヘアード作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
3	【アーティフィシャルフラワーのクラッチブーケ】 注意点説明 ブーケ・花冠作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
4	【生花のラウンドブーケ:ブーケホルダー使用】 ブーケホルダーの説明 水揚げ・ブーケ・ブートニア作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
5	【アーティフィシャルフラワーのラウンドブーケ】 生花、造花、ドライ比較解説 ブーケ・ブートニア作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
6	【生花のティアドロップブーケ:ブーケホルダー使用】 作り方説明 水揚げ・作成・リボン取付	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
7	【アーティフィシャルフラワーのキャスケードブーケ:ブーケホルダー使用】ホルダー等のメリットデメリット解説 作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
8	【生花のキャスケードブーケ:ブーケホルダー使用】 作り方説明 作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
9	【ドライフラワーのボールブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・制作・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
10	【生花のボールブーケ】 水揚げ・ブーケデザイン・制作・前回との比較	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
11	【ドライフラワーのバッグ型ブーケ】 作り方、注意点説明 ブーケデザイン・制作	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
12	【アーティフィシャルフラワーのリングブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・制作・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
13	展示会用ドレス選択 ブーケデザイン	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
14	展示作品制作 展示 感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
15	定期試験	筆記用具	なし

対象学年	2 学年	科目名	ウェディングフォト	担当名	内垣 和	
対象学期(Q)	前 期			単位/時間数	単位	30 時間
			講義・演習・実技・実習			
到達目標	ウェディングフォト(婚礼写真)の知識、撮影基礎技術を学ぶことで、商品説明ができ、商品別に手順を理解した上で手配業務ができる。また、スマートフォンを使用した撮影、編集ができる。					
学習内容	フォトグラファー歴13年、ホテルや式場・ゲストハウスなどで撮影を行う講師が、ウェディングフォトの基礎知識、撮影技術はもとより、心構えや動きなど現場で使える・役立つ知識を講義する。					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A ー 4.0 90点～100点 B ー 3.0 80点～89点 C ー 2.0 70点～79点 D ー 1.0 60点～69点 E ー 出席不良 F ー 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする					
履修に当たっての留意点	テキスト・ノート・筆記用具・スマートフォンを持参すること。					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 写真とは 写真の歴史と日本の通過儀礼における写真撮影について	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
2	接客及び業務の流れと必要なスキルについて ウェディングフォトの知識(集合写真・記念写真・スナップ写真・前撮り・ロケーションフォト・エンゲージメント等)	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
3	スタジオ写真の技術「親族写真の並べ方」「新婦和装の振付」について SNSの効果と注意点について	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
4	写真を撮るためのカメラの基礎用語と基礎知識 スマートフォンのカメラ機能	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
5	構図とアングル スマートフォンを使用して撮影実践と課題撮影	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
6	背景と光選び スマートフォンを使用して撮影実践と課題撮影・アプリを使用した編集	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
7	挙式の式次第と撮影ポイント・スナップ写真の撮影シーンについて ウェディングフォトの編集加工テクニック・製本方法、手配業務について	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
8	ロケーションフォトの手順、撮影シーンについて フォトウェディング・ロケーションフォトの撮影テクニック	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
9	スマートフォンを使用して撮影実践(ポートレート撮影)	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
10	フォトコンテスト準備(フォトコンテスト・7/29～7/31)	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
11	ウェディングフォト(動画)における心構えと立ち振る舞いについて(写真と動画の違いについて)	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
12	動画を学ぶ	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
13	動画を学ぶ	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
14	授業内容全体まとめ 理解が不十分な部分を明確にし、知識の定着を図る	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO スマートフォン	
15	定期試験(JWSA認定の試験)	テキスト:JWSA⑧WEDDINGPHOTO	

対象学年	2 学年	科目名	ハウスセールスI	担当名	田中 絵巳
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	「集客～新規接客～成約の流れを理解し、新規接客カウンセリング時の質問・会話の意図を説明できること」 ①認知:集客～新規接客～成約までの流れと新規接客カウンセリングするべき質問・会話の意図を理解する ②感情:ハウスセールスって面白い、やってみたい ③行動:集客～新規接客～成約までの流れと新規接客カウンセリングの質問・会話の意図を説明できる ④対人関係:各項目を他者に説明できる(テストにて確認)				
学習内容	ウェディング企業にて約7年勤務のち、ウェディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員がゲストハウスでの新規接客での各項目で実施する質問・会話の意図を教える。前期は意図理解、後期は実践編と分けることにより、型(セールストーク)だけを教えるのではなく、プランナーとして必要な知識と姿勢を習得する。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	持ち物:筆記用具とメモ帳 服装:私服				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション (業界特性、市場の現状、マーケット理解)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
2	【集客】 マーケティング(マーケティング基礎知識)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
3	【集客】 市場調査(競合調査、企業分析)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
4	【集客】 販売促進(各販促媒体について)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
5	【集客】 会場決定までの新郎新婦のプロセス理解	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
6	【新規接客】 ブライダルフェアの流れ	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
7	【新規接客/カウンセリング①】 挨拶・アイスブレイク(なれそめ、プロポーズ)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
8	【新規接客/カウンセリング②】 希望(時期、曜日、日柄、時間帯)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
9	【新規接客/カウンセリング③】 希望(人数、ゲスト、予算)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
10	【新規接客/カウンセリング④】 希望(雰囲気、イメージ、興味アイテム)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
11	【新規接客/カウンセリング⑤】 競合(何軒目の見学か、エリア、見学予定)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
12	【新規接客/会場見学】 挙式・会場スタイル、ポイント解説と注意点	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
13	【新規接客/見積もり】 お見積書の見方、説明	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
14	【成約】 仮予約、申し込み、規約、宿泊、二次会	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
15	定期試験(筆記試験)60点分	各授業の振り返り資料持参	定期試験の為の復習

対象学年	2 学年	科目名	ホテルセールスⅠ	担当名	丸毛 浩一
対象学期(Q)	前 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	単位 30 時間

到達目標	ホテルのセールス&マーケティングに関する基本知識を学びホテル集客の基礎を体系的に述べ考える事が出来る。
学習内容	ホテル業界で各部門担当支配人及び総支配人の実務経験を有しホテル学校での教育経験を持つ教員がホテルセールス&マーケティングの基礎と理論を述べ考える事の出来る授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験+ワークセッション評価とする
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。 メモ帳(小型)、ノック式ボールペン及びPCを忘れず持参すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	本教科の授業概要を理解する セールス&マーケティング部門について	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
2	セールス&マーケティング部門の理解 マーケティング概念の理解Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
3	マーケティング概念の理解Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
4	ポジショニングとセグメンテーション&ターゲティングⅠ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
5	ポジショニングとセグメンテーション&ターゲティングⅡ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
6	コンセプティングと競合分析の理解について	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
7	データ分析とブランドタッチポイントの理解Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
8	データ分析とブランドタッチポイントの理解Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
9	CRMとワークセッションへ向けて(まとめ)	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
10	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる) Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
11	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる) Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
12	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる) Ⅲ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
13	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる) Ⅳ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
14	ホテルセールス&マーケティングⅠ 学習まとめ (定期試験に向けて)	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
15	定期試験(筆記+ワークセッション)		

対象学年	2 学年	科目名	レストランサービス検定 I	担当名	唐橋 誠治
対象学期(Q)	前 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『レストランサービス技能検定の筆記試験対策授業』料飲サービスのプロとして、料飲サービスに関する資格としては唯一の国家資格である「レストランサービス技能検定3級」合格を目標とする。
学習内容	一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会が認定する、西洋テーブルマナー認定講師・HRS1級技能士を有する講師が担当。3級合格に向けた筆記対策授業を行う。テキストに沿って重要項目にはアンダーラインを引きながら解説。過去問題を使用し、本番試験に模した問題を解く。何度も繰り返しながら、問題傾向を把握して合格に繋げる。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	第1章 第1節 食品①	西洋料理 料飲接客サービス技法	
2	第1章 第1節 食品②	西洋料理 料飲接客サービス技法	
3	第1章 第2節① 西洋料理に使用される主な食材	西洋料理 料飲接客サービス技法	
4	第1章 第2節② 西洋料理に使用される主な食材	西洋料理 料飲接客サービス技法	
5	第1章 第3節① 一般的な西洋料理調理法	西洋料理 料飲接客サービス技法	
6	第1章 第3節② 一般的な西洋料理調理法	西洋料理 料飲接客サービス技法	
7	第1章 第3節③ 一般的な西洋料理調理法	西洋料理 料飲接客サービス技法	
8	第1章 第4節① 飲料の種類および特徴	西洋料理 料飲接客サービス技法	
9	第1章 第4節② 飲料の種類および特徴	西洋料理 料飲接客サービス技法	
10	第1章 第4節③ 飲料の種類および特徴	西洋料理 料飲接客サービス技法	
11	第1章 第5節① メニュー	西洋料理 料飲接客サービス技法	
12	第1章 第5節② メニュー	西洋料理 料飲接客サービス技法	
13	第1章 第6節① 西洋料理の食事用具・備品	西洋料理 料飲接客サービス技法	
14	第1章 第6節② 西洋料理の食事用具・備品	西洋料理 料飲接客サービス技法	
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	レストランサービス実技Ⅰ	担当名	唐橋 誠治		
対象学期(Q)	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位	60	時間

到達目標	『レストランサービス技能検定の実技試験対策授業』料飲サービスのプロとして、料飲サービスに関する資格としては唯一の国家資格である「レストランサービス技能検定3級」合格を目標とする。
学習内容	一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会が認定する、西洋テーブルマナー認定講師・HRS1級技能士を有する講師が担当。3級合格に向けた実技対策授業を行う。過去の実技試験問題を使用し、何度も繰り返しながら、実技試験合格に向けたポイントを確認して資格取得に繋げる。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	検定用テキスト、西洋料理料飲接客サービス技法内にあるフルーツカット等の実技技術面を取り入れる。(サービスコンクール風)

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	朝食サービスについて①		
2	朝食サービスについて②		
3	朝食サービスについて③		
4	朝食サービスについて④		
5	朝食サービスについて⑤		
6	朝食サービスについて⑥		
7	朝食サービスについて⑦		
8	朝食サービスについて⑧		
9	朝食サービスについて⑨		
10	朝食サービスについて⑩		
11	朝食サービスについて⑪		
12	朝食サービスについて⑫		
13	朝食サービスについて⑬		
14	朝食サービスについて⑭		
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルヘアメイク I	担当名	長尾 建
対象学期	前 期	講義	演習・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	洋装・和装のブライダルヘアメイクの基礎知識を習得し、実践できるようになる
学習内容	美容師免許を取得後、ブライダルヘアメイクアーティストとして婚礼現場に携わり、JWSAの認定講師を取得。ウェディングビューティースタylistとして、現場での実体験を交えながら技術を習得する授業を行う
成績評価の方法と基準	出欠点50点＋定期試験50点　合計点数100点にて成績を算出する。 評価　　GPA　　合計点数 A　－　4.0　　90点～100点 B　－　3.0　　80点～89点 C　－　2.0　　70点～79点 D　－　1.0　　60点～69点 E　－　出席不良 F　－　0.0　　59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする。
履修に当たっての留意点	メイクは相モデルで行う。ヘアはウィッグを使用する

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・婚礼美容の特徴を理解する(JWSA② 1章・2章)	JWSAテキスト②	
2	スキンケア及びベースメイクの手順を理解し、実践する(JWSA② 2章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
3	スキンケア及びベースメイクの手順を理解し、実践する(JWSA② 2章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
4	スキンケア～ベースメイク及びポイントメイクまでの実践をする(JWSA② 4章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
5	ポイントメイクの構成と特徴を理解する(JWSA② 4章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
6	ポイントメイクの構成を理解し実践する(JWSA② 4章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
7	フルメイクを実践し全体のバランスを理解する(JWSA② 4章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
8	中間試験	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
9	アイロンやホットカーラーの使い方、ピン、一束などの使い方を理解し実践する(JWSA② 4章)	教材ヘア道具一式・JWSAテキスト②	
10	アップスタイルの練習をする(JWSA② 4章)	教材ヘア道具一式・JWSAテキスト②	
11	挙式用・披露宴用スタイルの違いを理解しアップスタイルからダウンスタイルを実践する(JWSA② 4章)	教材ヘア道具一式・JWSAテキスト②	
12	和装の基本、和装スタイルの特徴を理解し夜会巻きの練習をする(JWSA② 7章)	教材ヘア道具一式・JWSAテキスト②	
13	夜会巻きの練習をする(JWSA② 7章)	教材ヘア道具一式・JWSAテキスト②	
14	相モデルで実際のヘアスタイルチェンジの実践を行う(JWSA② 4章)	教材ヘア道具一式・JWSAテキスト②	
15	定期試験 試験対策・筆記試験(JWSA②認定)	JWSAテキスト②	定期試験対策の勉強

対象学年	2 学年	科目名	着付 初伝・中伝	担当名	岡野暢子
対象学期	前 期	講義	・ <u>演習</u> ・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	山野流着装〈初伝〉〈中伝〉の資格取得を目標とし、現場で実践できる基礎技術を身に着ける。 初伝では着物の基礎知識を学び、小紋の着付と名古屋帯の一重太鼓を結ぶことが出来る。 中伝では振袖と留袖の着付を学び、お客様に着付することが出来る。
学習内容	長年和装の着付技術の指導にあたり、自らも和装ブライダルの現場を経験してきた山野流着装 奥伝師範講師より冠婚葬祭での着物の基礎知識、衣装の扱い方をわかりやすく解説し、伝統を 継承しながらも現代のニーズに応えられる和装着付の技術をお伝えします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	資格取得の科目につき全日出席してください。 キャミソール（タンクトップは不可）・レギンス（薄手のもの）を着用します。 髪は襟足にかからないよう上にまとめあげて参加してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	浴衣の歴史・知識 着物の名称 下着・紐類・小物の用い方 下着の着付	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
2	浴衣の着付と細帯の結び方	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
3	小紋と名古屋帯の知識 着付前の準備の仕方 展示同時実習 長襦袢の着付（伊達締めまで）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
4	名古屋帯のたたみ方から準備の仕方 展示同時実習 小紋の着付（伊達締めまで）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
5	準備の仕方から小紋の着付まで 展示同時実習 名古屋帯の一重太鼓の帯結び	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
6	準備の仕方から小紋の着付まで 展示同時実習 名古屋帯の一重太鼓の帯結び	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
7	定期試験〈初伝〉取得：実技試験	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
8	ミスの第一礼装 振袖についての知識を学ぶ 体型補正から長襦袢までの着付を学ぶ（2人1組）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
9	着付け前の準備の仕方 振袖の着付から伊達締めまでを学ぶ	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
10	振袖の着付：準備より着物の着付けまでを実習する 帯結び 二枚扇 帯揚げ・帯締めまで仕上げる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
11	振袖の着付：準備より帯結びまでを時間内に完成させる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
12	ミセスの第一礼装：留袖についての知識を学ぶ 体型補正から留袖（伊達締め）までの着付を学ぶ	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
13	留袖の着付け：準備より着物の着付けまでを実習する 帯結び 二重太鼓 帯揚げ・帯締めまで仕上げる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
14	着付け総仕上げ 着付けの準備からお客様の着付け→ 衣裳のしまい方まで（2人1組）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
15	定期試験〈中伝〉取得：実技試験	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルフラワーアレンジⅡ	担当名	伏見さゆり
対象学期	前 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	フラワーデザインの基本的な知識に加え、ブライダルにおける花との関わりを専門的に深め、ブライダルに特化したコンセプトチュアルスキルを磨き、幅広いデザイン表現できるように実践的にフラワー業界で活躍できる人材を育成する。																					
学習内容	ヨーロッパフラワーデザイン連盟認定講師として19年6教室を運営する傍ら、企業レッスン・音楽イベント・ブライダル装花など様々なシーンで活動する講師が授業を担当。フローリストとして、専門的知識と技術、高度なテクニックや創造性の向上を図り、即戦力となるよう経験を積み講義や実技を実施する。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td></td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E		出席不良																				
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	授業毎で使用する持ち物は、毎回確認し忘れずに持参すること。 *忘れ物をすると、作品が制作できません。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	植物の栄養、構造を理解する。 生花作品①「春のアレンジメント(タイトル付け・フリースタイル)」作成の実施。	教科書・トレイ・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P4～P13まで自宅学習
2	花の個性をより引き出す価値観による分類、植物の表面構造を分類する。生花作品②「和風ボールブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・S字フック	教科書P14～P17まで自宅学習
3	植物の動きの形態を説明する。フラワーアレンジにおける制作構成について理解する。生花作品③「リース」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P18～P21まで自宅学習
4	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅰ(MFPIについて)理解する。生花作品④「クラッチブーケ」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P22～P23まで自宅学習
5	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅱ(シンメトリーとアシンメトリーについて)理解する。生花作品⑤「ラジエーション」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ジョイント&ベース・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P24～P25まで自宅学習
6	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅲ(配列)について理解する。生花作品⑥「アーチ」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P26～P28まで自宅学習
7	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅳ(プロポーション)について理解する。生花作品⑦「EFD1級検定学内試験アーチ」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ジョイント&ベース・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P29自宅学習
8	アレンジメントにおける花材やデザインに合った適切な方法メカニクスについて理解する。生花作品⑧「バックブーケ」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・S字フック	教科書P30～P31まで自宅学習
9	ウェディングを演出するに欠かせない花飾りについて理解する。生花作品⑨「シャワーブーケ」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P32～P43まで自宅学習
10	現場制作生け込み、ハーブについて理解する。生花作品⑩「夏のアレンジメント(タイトル付け・フリースタイル)」作成の実施。	教科書・コンポートカップ・ベース・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P44～P47まで自宅学習
11	色による感情効果、カラーコーディネートについて理解する。テーブルコーディネートについて理解する。生花作品⑪「ブリザードフラワーメリア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・グルーガン	教科書P48～P58まで自宅学習
12	フラワーアレンジメントの時代と様式を理解する。生花作品⑫「スクエア」作成の実施。	教科書・トレイ・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P59自宅学習
13	鑑賞授業 本物の生きた植物から、多種多様な植物の特徴、面白さ、不思議さを体験し理解する。『植物園見学』	筆記用具・メモ用紙	
14	フラワーアレンジメント全般の用語、展開図について理解する。生花作品⑬「キャスケードブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P62～P103まで自宅学習
15	1限目 EFD1級検定学内試験キャスケードブーケ 2限目 定期試験	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	第1回～14回講義内容・EFD1級検定実技試験自宅学習

対象学年	2 学年	科目名	ブライダル撮影 I	担当名	近藤仁・高杉昌孝
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	フォトグラファーに必要な知識・実践を徹底的に身につける。 ブライダルだけではなく、フォトグラファーとしての目標・目的を広げてあげる。
学習内容	フォトグラファーに必要な知識・技術について講義・演習を行います。 また、ブライダルに特化し、卒業後、スムーズに仕事に就けられるレベルを目指します。 [講師紹介] 近藤:本校で講師5年目。現在もカメラマンとして年間撮影数100組以上の現役カメラマンです。 高杉:カメラマンとして20年の経験を持ち、現在はフーランスとして活動。クライアント、同業会社にてサンプル撮影、カメラマン指導・講師も行ってます。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 今後の流れの説明・カメラマンの仕事について	パソコン・筆記用具	近藤・高杉
2	撮影データの編集 (Lightroom・Photoshop)	パソコン・筆記用具	近藤
3	基礎Ⅰ カメラの基本操作を学んでいただきます (ピント・絞り・シャッタースピード・感度など)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
4	撮影実習Ⅰ 実際に撮影していただき、基礎を身につけていただきます。(課題あり)	パソコン・筆記用具	高杉
5	撮影実習Ⅰ 実際に撮影していただき、基礎を身につけていただきます。(課題あり)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
6	撮影実習Ⅱ 実際に撮影していただき、基礎を身につけていただきます。(ストロボ使用)	カメラ・ストロボ・パソコン	近藤
7	撮影データの編集・加工 (Bridge/Lightroom/Photoshop)	パソコン・筆記用具	近藤
8	撮影データの加工 (Lightroom・Photoshop・Illustrator)	パソコン・筆記用具	近藤
9	アルバム作成 アルバムを作成する為の知識とソフトの説明	パソコン・筆記用具	近藤
10	物撮り 物の撮影の内容全般 (仕事で使える基礎・応用)	カメラ・ストロボ・パソコン	近藤
11	基礎Ⅱ カメラの基本操作を学んでいただきます (構図・ホワイトバランス・補助光など)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
12	撮影実習Ⅲ 光を学ぶ (WB・自然光・補助光・ライティング)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
13	撮影実習Ⅳ 構図を学ぶ (画角・アングル・レンズについて)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉

対象学年	2 学年	科目名	フォトムービー撮影 I	担当名	森岡 愛
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	映像の基礎知識、撮影・編集技術を学び 婚礼を中心とした現場で即戦力として活躍出来る人材の育成
学習内容	ウェディングの映像を基本とし、その他企業案件等にも対応出来る知識・技術の習得
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート・筆記用具・スマートフォン・カメラ(バッテリー)・編集用PC・イヤホンを持参すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	映像の歴史・現代における映像の役割について	筆記用具	
2	映像の基礎知識復習	筆記用具、カメラ	
3	動画撮影の基礎①	筆記用具、カメラ	
4	動画編集の基礎②	筆記用具、カメラ	
5	PremierProを使用しての動画編集基礎①	筆記用具、パソコンmac	
6	PremierProを使用しての動画編集基礎②	筆記用具、パソコンmac	
7	ブライダル映像について学ぶ①	筆記用具、パソコンmac	
8	ブライダル映像について学ぶ②	筆記用具、パソコンmac	
9	PremierProを使用しての実際の結婚式の動画編集	筆記用具、パソコンmac	
10	ブライダル本番を想定した撮影技術(メイクシーン)	筆記用具、カメラ	
11	PremierProを使用しての動画編集応用	筆記用具、パソコンmac	
12	Photoshopを使った画像編集を学ぶ①	筆記用具、パソコンmac	
13	Photoshopを使った画像編集を学ぶ②	筆記用具、パソコンmac	
14	復習(これまでの学習で理解が足りない部分を補う)		
15	定期試験		

対象学年	2 学年	ブライダル顧客心理A・B	廣瀬 祐子
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	ブライダル業界における顧客全体像の把握と結婚式検討～準備～本番までの顧客心理の理解を深め、自分の強みを活かした接客スタイルをイメージできている人材を育成する。
学習内容	ホテル、ゲストハウス、プロデュース会社にて計13年勤務。プランナーとしての接客件数は500組以上。これまで実際に接客してきた顧客の具体例と実際に自分が結婚式をするならどうしたいかなどの顧客心理を具体的に想像できるような演習を通して、結婚式準備において繊細に遷移するブライダル顧客心理の理解を得た上で、自身がどのようなウェディングのプロになりたいかを明確化する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	・ブライダルにおける顧客層&ゼクシィのクラスタについて ・昨今のブライダル顧客の心理について		
2	自分が結婚式をするなら？理想を考えてみるワーク		
3	会場探し～会場下見～会場決定時の顧客心理について		
4	初回カウンセリング/ヒアリングの重要性について		
5	ドレス検討時の顧客心理について		
6	招待ゲスト検討時の顧客心理を考える		
7	装花コーディネイト小物装飾検討時の顧客心理について		
8	料理検討/演出検討/記録検討時の顧客心理について		
9	ヘアメイク検討時の顧客心理について		
10	結婚式当日と後日のゲストと新郎新婦の顧客心理について		
11	結婚式検討～準備中～結婚式後の顧客心理の遷移まとめ		
12	結婚式準備よくあるお悩み1 対応ロープレ実践(プランナー向け)		
13	結婚式準備よくあるお悩み2 対応ロープレ実践(プランナー以外向け)		
14	・ブライダル業界において自分が活かせる強みを考える ・どんなウェディングのプロになりたいか？を考える		
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルトレンド研究	担当名	遠藤 智緒里
対象学期	前 期	講義	・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	# プレ花嫁が考えていること、# 卒花嫁が思ったことなどから、業界で流行っている(トレンド)結婚式の良いところ、悪いところを探し出し、結婚式の知識を膨らますと共に、業界に対して、最良の結婚式とはどのような結婚式なのかを考え、企画し、提案・発信するスキルを習得する。
学習内容	業界歴25年以上ウェディングスタイリストとして、衣装・美容・写真・映像・空間コーディネート業界のトレンド研究を行い、ブライダル総研の学生のアイデアコンテストにおいて「グランプリ」に導いた講師が研究⇒企画⇒提案のノウハウを伝授。「SNSの# 卒花嫁・# プレ花嫁を大研究！～流行のお洒落結婚式を企画してみよう～」と題して、お洒落な結婚式をInstagramなどのSNSから情報収集し、トレンドの結婚式を考え(研究)、良い結婚式をプランニング(企画)し、プレゼンテーション(提案)をする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	Instagram、ピンタレスト、ゼクシィなどを用いて情報収集をするので、アプリ等のダウンロードは必須

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	到達目標・学習内容の説明 トレンドとは	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
2	【情報収集】結婚式で流行っているもの探し 会場・衣装・美容・写真・ムービー・装花・演出 等	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
3	【情報収集】Instagramから # 卒花嫁の声 # プレ花嫁の声を収集	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
4	【情報収集】ピンタレストから 世界のトレンドのお洒落結婚式画像の収集	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
5	【情報共有】 情報収集で得た情報を発表し、共有する	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
6	【考察】 情報収集で得た情報から、トレンドのお洒落結婚式を考える	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
7	【研究・企画】 トレンドのお洒落結婚式について、研究・企画する	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
8	【研究】トレンド研究する内容を絞り 個人またはグループで研究を行う	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
9	【企画】研究した内容から 個人またはグループで企画を行う	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
10	【提案資料準備】 プレゼンテーション資料をPowerPointで作成する	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
11	【提案内容の中間発表】 発表内容を擦り合わせ、更により良い提案ができるよう考える	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
12	【発表準備・調整】 プレゼンテーションの準備と調整	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
13	【発表のリハーサル】 プレゼンテーションのリハーサルを行う	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
14	【発表・総評】 トレンドのお洒落結婚式の研究発表と総評	ゼクシィ・スマートフォン・パソコン	
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	カリグラフィー入門AB	担当名	笠原りんこ		
対象学期	前 期		講義 ・ <u>演習</u> ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位	30	時間

到達目標	カリグラフィーの基礎的な知識を学び、花嫁様の希望を叶えるウェディングアイテムを作ることができるようにする。
学習内容	レストランウェディングの商品企画・海外ブランドの筆耕に20年間携わるカリグラファーによるハイクオリティのウェルカムボードを作る技術の演習。文字を書くという手仕事を通じ、個性の表現を身につける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	カリグラフィー道具の持参/授業内容に応じて自宅学習有

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	道具の使い方と書体の特徴	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
2	小文字の書き方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
3	小文字の書き方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
4	大文字の書き方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
5	大文字の書き方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
6	数字の書き方と小文字・大文字のチェックテスト	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
7	カード作り(Groom・Brideカード)	テキスト(当日配付)	
8	平筆の使い方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
9	平筆の使い方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
10	ミニウェルカムボード作り1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
11	ミニウェルカムボード作り2		
12	ウェルカムボード作り1		授業内容に応じて自宅学習有
13	ウェルカムボード作り2		授業内容に応じて自宅学習有
14	ウェルカムボード作り3		授業内容に応じて自宅学習有
15	ウェルカムボード作り4(定期試験作品提出)		

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルSNS演習AB	担当名	長谷川 円香
対象学期	前 期		講義 ・ <u>演習</u> ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	近年、企業が最も力を入れていきたい！と考えているSNS戦略。商品やサービスが売れる仕組みを知り。SNSを効果的に表現出来る方法を身につけることを目標とする。
学習内容	婚礼プロデュース会社15年勤務・フリープランナー経験8年・フリーMC歴15年。その他行政・企業のSNS運用・イベント集客なども手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について具体的に演習を行う。基礎知識が何もわからなくても受講可能な入門中の入門編。SNSの特性や違いを知流。インスタグラム運用に特化
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 講座の流れ・到達目標の共有・自己分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
2	魅力的な自分自身のプロフィールを作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	各SNSの特徴・ブライダル企業のSNS研究(youtube・facebook・TikTok・Instagram・Twitter等)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	各SNSの特徴・ブライダル企業のSNS研究(youtube・facebook・TikTok・Instagram・Twitter等)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	共感を呼ぶコンテンツづくり ハッシュタグ研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	インスタグラムの入門(OKなことNGなことを知る)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	目的別リール作成(ステップ型・問題解決型・メリット型)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	目的別リール作成(ステップ型・問題解決型・メリット型)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	目標設定・運用プラン作成(ペルソナ設定)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	学校インスタグラムの記事作成	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	学校インスタグラムの記事作成	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	学校インスタグラムの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	学校インスタグラムの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	学校インスタグラムの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	アテンダー・キャプテン・司会実践A	担当名	唐橋 誠治
対象学期(Q)	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『婚礼におけるアテンダー・キャプテンの動きと司会の役割と技術について学ぶ』 施行スタッフとして、事前準備や当日運営に必要な知識と技術を学び、結婚披露宴の1日を組み立て運営出来る力を身に付けさせる。特にHWプログラムを検討する学生は実際に使用する第二校舎3F(リュミエール)にて当日の運営に役立せる。
学習内容	ブライダルキャプテンにて400組以上の新郎新婦を担当した講師が、事前準備を含む当日運営に必要なサービス方法と各役割ごと(アテンダー・CAP・司会など)の動き方を実際にHWが施行される第二校舎3F(リュミエール)を使用して指導します。基本マニュアルと基本の披露宴進行表をベースに授業を行い、全役割を把握する内容とします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	※唐橋メモ アテンダー・司会の先生の出講授業については大松先生と要相談

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【座学】受付・クローグについて 【動画】過去のハウスウェディング、サービス全般1日の流れ お客様の動き・スタッフ導線を確認		
2	【座学】ホワイエでの振る舞い、食前酒やドリンクについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯①(講師主導)		
3	【座学】料理アレルギーについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯②(学生主導)		
4	【座学】披露宴スタートからお色直しまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀①(講師主導)		
5	【座学】お色直しからお見送りまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀②(学生主導)		
6	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)① 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞① (講師主導)		
7	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)② 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞② (学生主導)		
8	【座学】役割決定、アテンダー、キャプテン、司会等 リハ披露宴前半部分		
9	リハ披露宴後半部分		
10	模擬披露宴本番(1回目)	アテンダー・司会の講師にて学 生の動きチェック頂く	
11	【座学】1回目の反省とオリジナルウェディングを考える (設定変更・役割変更)		
12	リハ披露宴前半部分		
13	リハ披露宴後半部分		
14	模擬披露宴本番(2回目)		
15	定期試験(座学で学んだ内容)		

対象学年	2 学年	科目名	トータルビューティA	担当名	矢越了子・佐野みゆき・千葉絵以美																					
対象学期	前 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 60 時間																					
到達目標	ヨガ:ヨガの知識と技術を学び、自身のメンタルヘルスケアの方法を学び、自身が健康的に働き続けられる基本姿勢を養うことができる。 ピラティス:ピラティスの知識と技術を学び、自身が健康的に働き続けられる基本姿勢を養うことができる。また、得た知識で新郎新婦様に姿勢やリラックス方法などの助言ができる人材を育成する。 エステ:セルフエステの知識と技術を学び、自身の身体の特徴を知り、自身が健康的に働き続けられるケアができるようになる。																									
学習内容	【ヨガ】都内私立中高保健体育教諭経験後、ヨガスタジオ・ホットヨガ・大手スポーツクラブなど多数のレッスン、ヨガ養成講座担当、イベント出演など幅広く活動し自身でヨガ教室主催、スポーツ指導歴24年。トータルビューティの視点でヨガをライフスタイルにしていくこと、知識を深めながら実習しヨガを体験していく。常にお客様目線になる視点を持つていく。 【ピラティス】美容室サロン勤務を経て、フリーランスとして独立。長年美容業に携わり姿勢の美しさの必要性を痛感し、ピラティス指導の世界へ。現役トレーナーとして月に100名以上のアスリートやシニア、OLなどなど多様なクライアントにピラティス指導をしている講師が、ピラティスがどのように生まれ、どのように普及したのか、その歴史を知り、現代におけるその目的と効果を理解し、自身の身体に効果を感じる。 【エステ】大手エステ会社でエステティシャン経験後、エステ業界にてエステティシャンの教育、美容機器の開発、化粧品の開発などに携わる。その後美容専門学校で教鞭をとり現在は講師としてエステティシャン教育に尽力している。セルフエステを実践的に学習することで自分磨きに役立てられるようになる。																									
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td></td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする					評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																								
A	4.0	90点～100点																								
B	3.0	80点～89点																								
C	2.0	70点～79点																								
D	1.0	60点～69点																								
E		出席不良																								
F	0.0	59点以下(不合格)																								
履修に当たっての留意点	動きやすい服装で参加すること 毎授業フェイスタオルを持ってくること																									

授業回数別教育内容

回数	日にち	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	5/22	【ピラティス】「ピラティスってなんですか?」「実際のピラティスセッション」		
2	5/29	【ピラティス】「ピラティス解剖学」「キーコンセプトピラティス用語」「ピラティスの原理原則」		
3	6/5	【ピラティス】「初級マットエクササイズ」		
4	6/12	【ピラティス】「初級マットエクササイズ」		
5	6/19	【ピラティス】筆記試験 自己採点とフィードバック		
6	6/26	【エステ】「エステティックって何?」「手のつぼをおしてみよう」		
7	7/3	【エステ】「ハンドマッサージ実践①」「手のひらで気持ち良いところを探そう」		
8	7/10	【エステ】「ハンドマッサージ実践②」「手のひらのトリートメント実践」		
9	7/17	【ヨガ】ヨガとは?運動体操の違い・ウェルネスの視点から見たヨガ・どんなポーズがある?→ヨガ実習(スタンダードヨガ)		
10	7/24	【ヨガ】ヨガの種類・ヨガチャート・ポーズの種類(一人一つ調べて発表)→ヨガ実習(みんなの調べたものを組み合わせるメニューにしていく)		
11	8/28	【ヨガ】呼吸法について・ヨガにとって呼吸とは?美容健康の視点からみた呼吸法→実習・ヒーリングヨガ		
12	9/4	【エステ】「フットマッサージ実践①」「足の裏で気持ち良いところを探そう」		
13	9/11	【エステ】「フットマッサージ実践②」「足の裏からひざ下までのトリートメント実践」		
14	9/18	【ヨガ】ヨガの歴史→実習(太陽礼拝)パワーヨガ		
15	9/25	定期試験	ヨガ・ピラティス・エステ20点ずつ(合計60点)の試験を実施	

対象学年	2 学年	接遇介助士ホスピタント	山田 みどり
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	4単位 60 時間

到達目標	接遇介助(高齢者、妊婦、障害者など)を適切に行えるようになる。ウェディング・ホテル接客スキルの一環として習得する。 ※「接遇介助士ホスピタントアソシエイト3級」合格を目指す
学習内容	一流ホテルにて婚礼・宴会などホテル業務、カナダでサービス業に勤めるなど、多種多様なシチュエーション、人々の特徴、異文化を含めたコミュニケーション力を備えた講師より、相手の状況や心理状態学びながら、お客様への適切な声掛けやコミュニケーションを行えるように実践的な学習を行う。接客時や日常生活における適切なサポート方法を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回テキスト「接遇介助士ホスピタントの教科書」を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	接遇介助士ホスピタントの必要性と資質	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
2	ホスピタントマナーの理解 ヒューマンリティの概念	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
3	QOLの発表 お客様心理の理解	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
4	ポジティブワードの会話とは 5つの視点	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
5	ロールプレイング(5つの視点) Global Security・個性への対応	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
6	オープנקエストionとクローズドクエスチョン ロールプレイング(クエスチョン)	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
7	これまでの振り返り	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
8	お客様に合わせた 接客・介助・サービス	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
9	実技①(5人1組)個性の理解 実技②(5人1組)個性への対応	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
10	プレゼンテーション 実技③(2人1組)個性に対する接客・接遇	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
11	個性に合わせた接客・接遇 実技④(5人1組)個性に対する接客・接遇	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
12	実技⑤(5人1組)デモンストレーション 多様性を理解する	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
13	お客様を守る接客	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
14	前期・後期の振り返り 模擬試験	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
15	定期試験	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	

対象学年	2 学年	科目名	カウンセリングロールプレイA	担当名	中村 恵理
対象学期	前 期		講義 ・ <u>演習</u> ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	カウンセリングの必要性を知り、潜在的な要望を聞き出すための手法を実践を踏まえながら実施する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在活躍している教員が、日常の場面でのカウンセリングシーンや婚礼で求められるカウンセリングの意味をロールプレを通して伝える。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	人(相手)に興味を持つこと。社会に出てからすぐに実践できるように言葉づかいにも気をつけること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション カウンセリングとヒアリングの違いとは	筆記用具	違いを知り、日常のカウンセリングをしているシーンについて考える
2	日常でみかけるカウンセリングのシーンとは (グループワーク→発表)	筆記用具	
3	婚礼におけるカウンセリングの必要性	筆記用具	
4	カウンセリング手法(同調、質問の形式)	筆記用具	
5	カウンセリング実践①ドレスショップ	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
6	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
7	カウンセリング実践②式場見学	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
8	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
9	カウンセリング実践③打合せ開始時	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
10	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
11	各カウンセリングシーンにおける重要な事(総括)	筆記用具	
12	どのように対応をしたら 新郎新婦は不快に思わず答えてくれるか	筆記用具	
13	新郎新婦側にたつてのカウンセリング体験	筆記用具	
14	カウンセリングを上達させるために必要な要素	筆記用具	
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ソムリエ・バーテンダー	担当名	唐橋 誠治
対象学期(Q)	前 期	講義	・(演習)・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『ワイン・バーサービス・料飲の知識 カクテルを学ぶ』ワインの最低限の産地とブドウ品種を知る。バーテンダーの基本動作、シェイクとステアが出来るようになる。オーソドックスなカクテル名とレシピを知り、料飲知識(テーブルマナーや大人の教養を身に着け
学習内容	JSAソムリエ・HBAビバレッジアドバイザーの資格を有する講師が担当。座学と実技にてお酒全般の知識を身に着ける。1コマ目の座学で知識を知り、2コマ目に実際に触れる、体験する、やってみる、創作することをして学習します。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A ー 4.0 90点～100点 B ー 3.0 80点～89点 C ー 2.0 70点～79点 D ー 1.0 60点～69点 E ー 出席不良 F ー 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【座学】ワインの製造方法を知る ワインの産地(旧世界)(ニューワールド) 【実技】ワイン抜栓、ソムリエナイフの使い方、デカンタージュ		
2	【座学】白ワイン、赤ワインの世界品種を知る 【実技】ミネラルウォーターの飲み比べ (ワインテイスティング方法を水で習得する)	ミネラルウォーター購入 1,500円	
3	【座学】ワイン産地の名産料理を知る(ペアリング料理) 【実技】本物の赤ワイン抜栓とホットワインづくり(ヴァンショー)		
4	【座学】コーヒー、紅茶、ソフトドリンクについて 【実技】スクイザーを使用したフレッシュレモンスカッシュを作る	レモン・グラニュー糖・炭酸水	
5	【座学】お酒の成り立ち(歴史について) 【実技】ステアとビルドカクテルの動作を学ぶ		
6	【座学】ビールの世界(醸造酒、蒸留酒の違いとは) 【実技】ステアカクテルにチャレンジ		
7	【座学】日本酒、焼酎について 【実技】シェイカーを使用したカクテルの動作を学ぶ		
8	【座学】4大スピリッツ(ジン、ウォッカ、テキーラ、ラム) 【実技】シェイクカクテルにチャレンジ		
9	【座学】ウイスキーについて 【実技】ブレンダーカクテルにチャレンジ		
10	【座学】人気リキュール(カンパリ、アマレット、コアントローなど) 【実技】有名ノンアルコールカクテルを制作		
11	【座学】世界のカクテル名 【実技】カクテルコンペティションの動作を学ぶ(リハーサル)		
12	オリジナルカクテル① コンセプト&カクテルレシピ		
13	オリジナルカクテル② コンセプト&カクテルレシピ		
14	カクテルコンペティション 味・所作・見た目の採点		
15	定期試験(座学で行った内容ベース)		

対象学年	2 学年	科目名	BR国家検定対策3級 I	担当名	山岸 智恵子
対象学期(Q)	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位	30 時間

到達目標	ブライダルコーディネーターに必要な知識・技能・実践力を理解、習得し、ブライダル業界唯一の国家検定【3級ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格すること。																					
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施いたします。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td colspan="2">出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E	出席不良		F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E	出席不良																					
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と、知識確認のための「WORK BOOK」を持参すること																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	I ブライダルコーディネーターとは/1章:定義・必要な知識と能力 2章:企画提案に必要な要素	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	テキストエキスパートP14～18を読む
2	2章の2～ブライダルセールス、クロージングと成約、打合せ業務、オペレーション 3章:ブライダルビジネスのコミュニケーション	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP18～25を読む
3	3章の3～コミュニケーションにおける印象づくりと敬語 4章:ホスピタリティ	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP25～32読む
4	II ブライダルビジネスにおけるヒアリング(新規・成約)における基本的姿勢、手法の概略	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP34～52読む
5	III プランニング(新規・成約)における手法、特徴	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP54～89読む
6	IV ブライダル商品の特徴を理解する/プレゼンテーション(新規・成約)、成約手続き	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP92～100読む
7	V 手配業務(ペーパーアイテム・衣装・挙式・披露宴・演出・装花)、VI 当日業務(コーディネーター役割・アテンド業務)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP122～146読む
8	I～VIまでを振り返りアウトプットする VII ブライダル市場の規模と特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP14～146復習
9	VII ブライダル市場の規模と特性/業種・業態、関連業種、集客チャネル、エリア特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP148～172読む
10	VIII 経営管理/コンプライアンス、トラブル対処	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP216～235読む
11	X-1 ブライダル基本知識/結婚の定義・日本の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP238～250読む
12	X-2 ブライダル基本知識/海外の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP251～259読む
13	X-3 ブライダル基本知識/見合い・婚約・結納	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP260～277読む
14	X-4 ブライダル基本知識/結婚式・披露宴・二次会・新婚旅行 /定期試験対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP278～299読む
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	テキスト復習、ワークブック見直し

対象学年	2 学年	科目名	未来型ウェディング プレゼンテーション	担当名	和田 翔太郎
対象学期(Q)	前 期	講義	演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ウェディング業界の未来について様々な角度から考えを巡らせる中で、想像力と業界理解度を高めると同時に、自分の意見をプレゼンテーションとしてまとめて発表するアウトプットの力を身に着ける
学習内容	ウェディング業界の未来を考えるにあたり、「ウェディングプランナーの仕事はAIに取って代わられるか？」をテーマに差別化の未来と共存の未来をそれぞれ考察し、実際にプランナーや教員にプレゼンテーションを評価してもらう
成績評価の方法と基準	出席点40点＋実技演習60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格)
履修に当たっての留意点	筆記用具

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	4/16 1～3限 オリエンテーション AIとウェディングについて チーム分け 資料作成調査	筆記用具	
2	4/23 1～4限 資料作成調査 プレゼンテーションについて 資料完成・プレゼン練習	筆記用具	資料収集 (必要に応じて)
3	5/7 1～4限 プレ プレゼンテーション 最終準備 プレ プレゼンテーション 実践 質問と課題振り返り・ブラッシュアップ	筆記用具	資料収集 プレゼン制作 (必要に応じて)
4	5/14 1～4限 本番 プレゼンテーション 最終準備 本番 プレゼンテーション 実践 振り返り・レポート提出	筆記用具	プレゼン練習 プレゼン制作 (必要に応じて)